

◎主な研究成果のご紹介

◆りんごの高品質安定生産に向けて

【目的】りんご「ふじ」のつる割れの発生機構解明と対処法を探る。
 【結果】細胞壁の伸展性の不均衡により裂果することを解明し、生育調節剤により発生を軽減する技術を開発した。
 【今後】指導参考技術として生産者・指導者に普及する。



「ふじ」のつる割れ(上:外部裂果、下:内部裂果)

◆りんご新品種の開発

【目的】優良な新品種を開発する。
 【結果】良食味の極早生種「あおり16(恋空®)」、果肉が褐変しない「あおり27(千雪®)」、貯蔵性に優れた「あおり15(星の金貨®)」や「あおり21(春明21®)」などの品種を育成した。
 【今後】良品生産、流通に向けた技術支援を行う。



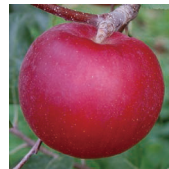
あおり16(恋空®)



あおり27(千雪®)



あおり24(はつ恋りん®)
※商標の使用には許可が必要です。



あおり25



あおり15(星の金貨®)



あおり21(春明21®)

◆環境に優しいりんご病害虫防除技術の開発

【目的】従来の粗皮削りに高圧洗浄機を利用し、効率化を図る。
 【結果】効果的な使用方法を確立した。本技術により、腐らん病の早期発見とクワコナカイガラムシの発生低減が期待できる。
 【今後】指導参考資料として生産者・指導者に普及する。



高圧洗浄機を利用したりんご樹の粗皮削り

◆おうとう(さくらんぼ)新品種「ジュノハート」の開発

【目的】青森県独自のさくらんぼのブランド品種を開発する。
 【結果】大玉で見栄えがよく、美味しい「ジュノハート」を育成し、品種登録した。
 【今後】高品質安定生産技術を開発し、普及を支援する。



おうとう(さくらんぼ)新品種「ジュノハート」